

NO. 310

じゅんあい

平成25（2013）年1月1日

わたしの口は 主を賛美します



ダビデの生涯しょうがいはいついかなる時も賛美さんびに明け暮れた生涯であった。
一見いつも平穩無事へいおんぶじに見える彼の生涯・・・しかし実は絶えず死と隣り合わせきびの厳しい日々の連続であった。

思えば少年時代、イスラエルはペリシテの軍に悩まされ、風前の灯ともしびのようであった。その中心人物はゴリアテで誰も彼に立ち向かう者はいなかったが、少年であったダビデはすくと立ち上がり前に進み出、ゴリ

アテと対決する。

「お前は刀と槍と矛を持って我に来る。されど私は万軍の主の名によってゆく・・・」そして小石をゴリアテめがけて投げつけると、それは彼の額に命中し、ゴリアテはもんどりうって倒れる。

すかさず走り寄ったダビデはゴリアテの刀を抜きとどめを刺しイスラエルは難局を突破。まことにダビデの信仰によって救われたのであった。

やがてイスラエルの王とされたが幾度も命奪われそうになる体験の連続、されど彼はくじけず主を仰ぎ這い上がる。

彼の境地を端的に表現したお言葉こそ詩編23篇といえよう。

「主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに 伴い魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖 それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ わたしの杯を溢れさせてくださる。

命のある限り 恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り 生涯、そこにとどまるであろう。」(詩編 23)

「主をたたえよ、わたしの岩を わたしの手にとどめを

指に戦^{いくさ}するすべを教えてください
わたしの支え、わたしの砦^{とりで}、砦^{とう}の塔

わたしの逃^{のが}れ場、わたしの盾^{たて}、避^さけどころ
諸^{しよこく}国の民^{たみ}をわたしに服^{ふくじゆう}従^{じゆう}させてくださる方を。」 (詩編 144 : 1、2)

「わたしの王、神よ、あなたをあがめ 世々限りなく御名をたたえます。
絶えることなくあなたをたたえ 世々限りなく御名を賛美します。

大いなる主、限りなく賛美される主
大きな御業^{きわ}は究めることもできません。」
(詩編 145 : 1~3)

「主の道はことごとく正しく 御業^{みわざ}は慈^{いつく}しみを示しています。
主を呼ぶ人すべてに近くいまし
まことをもって呼ぶ人すべてに近くいまし
主を畏^{おそ}れる人々の望^{のぞ}みをかなえ
叫^{さけ}びを聞いて救ってくださいます。



主を愛する人は主に守られ
主^{さか}に逆^{さか}らう者はことごとく滅^{ほろ}ぼされます。

わたしの口は主を賛美します。
すべて肉なるものは世^よ々^よ限りなく聖なる御^み名をたたえます。」
(詩編 145 : 17~21)

そして結論は “ わたしの口は主を賛美します ” である。

思えば今から28年前、せめて右近に一曲を！！からスタートした作詞・作曲。あれ以来、曲は五千になり一万、二万そして三万となり、遂に
昨年ついでの11月14日に四万曲になった。

それは主あわの隣れみによる一方的な自然的導きであった。右近には奇跡きせき
がないと言われているが、この曲作りはキリストに生きた彼の真実性を
物語る一つの表現、ある意味で奇跡といえよう。

2年後には右近ぼつご没後400年を迎えるが、プロテスタントの一牧師を
通して右近の働きを中心に曲が作られ、四万いたに至ったことは意味深く思
えてならない。

「主の慈しみに生きる人々よ 主に賛美の歌をうたい
聖なる御名となを唱え、感謝をささげよ。
ひととき、お怒りいかになっても
命いのちを得させることを御旨みむねとしてくださる。
泣きながら夜を過ごす人にも
喜びの歌と共に朝むかを迎えさせてくださる。」 (詩編 30:5、6)

「主したがに従う人よ、主によって喜び歌え。
主を賛美することは正しい人にふさわしい。
琴ことを奏かなでて主に感謝をささげ
十弦じゅうげんの琴かなを奏でてほめ歌をうたえ。
新しい歌を主に向かむってうたい
美しい調しらべと共に喜びさけの叫びをあげよ。」 (詩編 33:1~3)

「主よ、あなたはわたしの希望。
主よ、わたしは若いときからあなたに依り頼よみ
母たいの胎たいにあるときから あなたに依りすがって来ました。

あなたは母の腹から わたしを取り上げてくださいました。
わたしは常にあなたを賛美します。
多くの方はわたしに驚きます。
あなたはわたしの避けどころ、わたしの^{とりで}砦。
わたしの口は賛美に満ち
絶えることなくあなたの輝きをたたえます。

わたしが老いて^{しら}白髪になっても
神よ、どうか^す捨て去らないでください。

^{みうで}御腕の^{わざ}業を ^{みわざ}力強い御業を
来るべき^{せだい}世代に語り伝えさせてください。
神よ、恵みの御業は高い天に広がっています。
あなたはすぐれた御業を行われました。
神よ、誰があなたに^{なら}並びえましょう。

あなたは多くの^{わざわ}災いと苦しみを
わたしに思い知らせられましたが
^{ふた}再び^{いのち}命を得させてくださるでしょう。
地の深い^{ふち}淵から 再び引き上げてくださるでしょう。
ひるがえって、わたしを力づけ
すぐれて大なるものとしてくださるでしょう。
わたしもまた、わたしの神よ
琴に合わせてあなたのまことに感謝をささげます。
イスラエルの聖なる方よ
わたしは^{たて}豎琴に合わせてほめ歌をうたいます。
わたしの^{くちびる}唇は喜びの声をあげ
あなたが^{あがな}贖ってくださったこの^{たましい}魂は
あなたにほめ歌をうたいます。

わたしの舌は絶えることなく 恵みの御業を歌います。
わたしが災いに遭うことを望む者が
どうか、恥と辱めに落とされますように。」

(詩編 71 : 5~8、18~24)

これからも初心を忘れず、ダビデの如く主を心から賛美し続ける生涯
を過ごす者となりたく切に望む。

「主の道はことごとく正しく 御業は慈しみを示しています。
主を呼ぶ人すべてに近くいまし

まことをもって呼ぶ人すべてに近くいまし
主を畏れる人々の望みをかなえ
叫びを聞いて救ってくださいます。

主を愛する人は主に守られ
主に逆らう者はことごとく滅ぼされます。
わたしの口は主を賛美します。

すべて肉なるものは
世々限りなく聖なる御名をたたえます。」 (詩編 145 : 17~21)

殉愛キリスト教会 牧師 : 山 縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町夕 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>